

Elazzo

SEAT COVER



TOYOTA
NOAH
VOXY

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

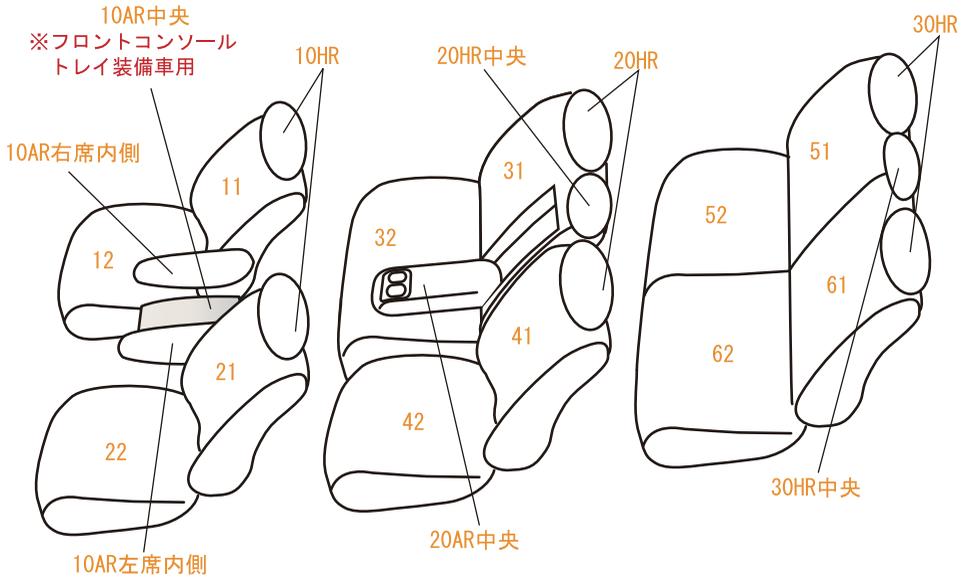
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目背もたれの装着方法	…> 9P~15P
2 列目座面の装着方法	…> 16P~18P
2 列目運転席側背もたれ・アームレストの装着方法	…> 19P~26P
2 列目助手席側背もたれの装着方法	…> 27P
3 列目座面の装着方法	…> 28P~30P
3 列目背もたれの装着方法	…> 31P~32P
ヘッドレストの装着方法	…> 33P~35P
アームレストの装着方法	…> 36P
コンソールの装着方法	…> 37P
完成図	…> 38P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 39P~40P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (10mm / 12mm / 14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッチフォーク専用 ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…>1列目座面の装着方法



- 1 始めにシートの背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏に引っ掛けて固定されています。生地の外し方は2番・3番を参考にしてください。



- 2 生地は図の固定具でシート裏のフレームに固定されています。ここでは分かりやすいようにシート裏から外した状態で、固定具のみを拡大しています。固定具を図のように左右反対に指でずらし合います。シートの裏をしっかりと確認して、固定具の形状を確認し、ずらす方向を間違えないように注意してください。



- 3 固定具が図のように開きます。これでシート背面の生地が1番のように外れます。固定具は非常に脆い素材となっているため破損しないように慎重に作業を行ってください。



- 4 シートカバーの装着を行う前に、運転席はシートリフターでシートを一番高い位置に調整しておきます。この作業はこの後の10番・15番の作業に関係してきます。



- 5 シートカバーを装着していきます。カバーをシートの先端に引っ掛けるようにしてかぶせていきます。この際、一部先端側の生地は、シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みながら作業を行います。



- 6 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれを一番起こした状態に調整するとシートの隙間が広がり、生地が入れ込みやすくなります。



- 8 1番の生地をめくり上げて、シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。この際、シートの背面を通っている配線に注意して生地を引き出して下さい。図の左側の配線は、車の仕様により有るものと無いものがあります。



- 9 シートの外側のカバーには、図のようにマジックテープが付いています。マジックテープの先端をシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込み、奥へと入れていきます。



- 10 シートの背面からシート裏の外側を写した図です。入れ込んだマジックテープをシートの隙間から図のように引き出します。
※この際、運転席はシートリフターでシートを上げていないと、マジックテープが出てこないで注意して下さい。



- 11 引き出したマジックテープをシート裏のフレームに巻き付けて、折り返します。フレームがシート裏の生地には隠れている場合があります。生地を避けながら作業を行って下さい。



- 12 折り返したマジックテープの先端に付いているオス部分を、メスのマジックテープに貼り付けて固定します。



- 13 シート外側の付け根の生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。付け根部分は隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用して、生地を矢印の方向へ入れ込むようにすると生地が入れ込みやすくなります。



- 14 シート内側のカバーに付いている固定部材を、生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



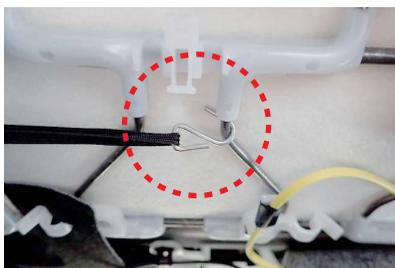
- 15 シートベルトのバックルが出ている付け根部分のカバーに、ゴムが付いています。ゴムをバックルの内側に通して、図の隙間からシート裏へ入れ込みます。
※この際、運転席はシートリフターでシートを上げていないと、ゴムを入れ込む隙間が狭くなるので注意して下さい。



- 16 シートの背面からシート裏の内側を写した図です。
入れ込んだゴムを図のように引き出します。



- 17 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 18 金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



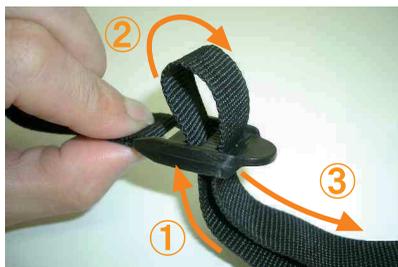
- 19 シート前側のカバーに付いている3本のベルトを、シート裏を通して背面側へ入れ込みます。
ベルトはスライドレバーやシート裏にあるパーツの上を通してながら入れ込んで下さい。



- 20 シートの背面からベルトを引き出します。



- 21 引き出したベルトを8番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 22 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引くと縫製糸が切れて、ベルトが抜けてしまう恐れがあるので、注意して下さい。



- 23 シートの背面は図のようになります。



- 24 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 2

…>1列目背もたれの装着方法

運転席の背面にはコンビニックが付いています。コンビニックを使用される場合はカバーに穴開け加工を行う必要があります。カバーの穴開け加工は**自己責任**で行って下さい。
※コンビニックを使用されない場合は、**4番・5番、21番から27番**の作業は必要ありません。
助手席の背面にはシートバックテーブルが付いています。助手席はシートバックテーブルをシートから外してシートカバーの装着を行います。こちらは**29番**から確認して下さい。



- 1 始めにアームレストをシートから外します。まず図のプラスチックキャップをへらなどを使用して外します。



- 4 コンビニックをシートから外します。フックを出してフック下のツメをへらなどで起こします。ツメを起こしながらフックを手前に引くとシートからコンビニックが外れます。



- 2 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは1.4mmを使用します。



- 5 コンビニックの側面図です。図のように下のツメがかなり小さいため固定が強くなりません。
※下のツメの山が欠けたりすると固定ができなくなります。



- 3 ボルトを外すとアームレストが図のように外れます。



- 6 カバー両側面のファスナーを開けておきます。カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。
9P ▶



- 7 5ページ1番の生地をめくり上げて、カバーの内側へ入れ込みます。
 運転席は生地をそのままめくり上げると、コンビニフックの位置を生地が覆ってしまうので、図のように生地を折り返して、生地の手をポケットの中へ入れ込みます。



- 8 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。
 始めに台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



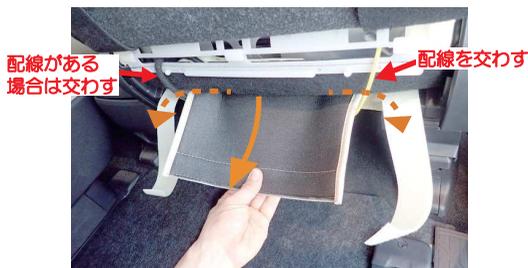
- 9 生地の手びを利用して台座を全て取り出します。
 ※革を使用したカバーでは、革が伸びないため生地の手びが裂けてくる場合があります。少し生地が裂けても台座の手びに隠れます。それ以上広げられないように作業は慎重に行ってください。



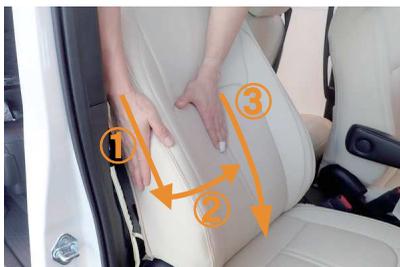
- 10 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
 背もたれを一番起こした状態に調整すると隙間が広がり作業が行いやすくなります。



- 11 10番で入れ込んだ生地の手びに付いているマジックテープを、隙間の広い中央側へ寄せて図のように入れ込みます。
 マジックテープを背面から引き出す際、マジックテープが捻じれないように注意して入れ込んで下さい。



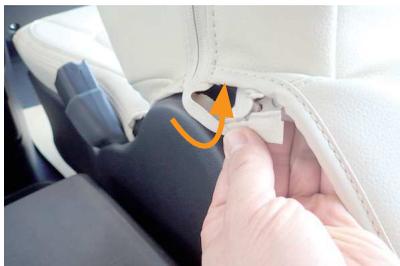
- 12 入れ込んだ生地とマジックテープをシートの手びから引き出します。
 マジックテープは一旦中央から引き出し、配線を交わして手びへ寄せていきます。



- 13 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を12番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 14 カバー両側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
※片側のファスナーのみ先に全て閉じてしまうと、カバーがシートのラインからずれてしまう場合があります。10センチ程度ずつ交互に閉じていくようにして下さい。



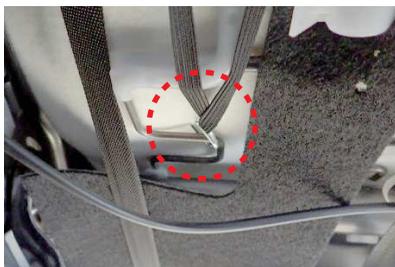
- 15 ファスナーを全て閉じたら、ファスナーの端を折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 16 12番で引き出した生地とマジックテープをカバーの背面下と固定します。両端のマジックテープは少し長めにしています。適度な位置で固定して下さい。



- 17 カバー背面下の生地にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



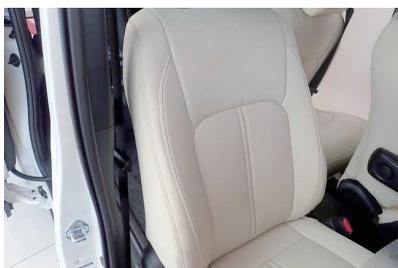
- 18 金属フックをシート裏のフレームに引っ掛けて固定します。



19 シートの背面は図のようになります。



22 確認した位置に図のように印を付けます。
※始めは若干小さめに印を付けるようにして下さい。



20 カバーのラインを整えます。コンビニフックの取り付けをされない場合はここで運転席の完成です。助手席側も同様に取り付けます。コンビニフックを使用される場合は、カバーに穴開け加工を行う前に、カバーがシートのラインからずれていないか確認して下さい。



23 印に沿って、生地を図のように切り取ります。
生地を切る際は、シート表皮を傷付けたりしないように、作業は慎重に行ってください。



21 コンビニフックのシートの固定位置を確認します。
生地の上から指で触り、固定位置を確認するか、分かり辛い場合は図のように内側のファスナーを開き、直接固定位置を確認して下さい。この際カバーがずれないように注意して下さい。



24 コンビニフックをシートに戻します。
5番の図を参考に上のツメからまず引っ掛けるようにして入れ込みます。



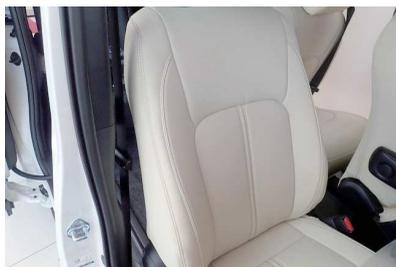
- 25 次に下のツメを引っ掛けるようにコンビニフックの下側を押し込みます。ある程度押し込んだらコンビニフックを引っ張り固定されたか確認して下さい。



- 26 コンビニフックの完成です。



- 27 補足です。
25番の作業でどうしてもコンビニフックが固定できない場合、シート側の留め具を少し手前に起こすと、コンビニフックが固定されやすくなります。これを行うにはマイナスドライバー、もしくはそれに近い代用品を用意します。図のように真横から用意した工具を差し込み、てこの原理でコンビニフックの下のツメが引っ掛かる金属の留め具を手前に起こします。数値にして1~2mm程度です。これで再度コンビニフックの固定をお試し下さい。
※こちらは無理に行くとシートフレーム自体を变形させかねません。作業は慎重に自己責任で行って下さい。



- 28 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

助手席



①隙間にヘラを差し込み
②矢印の方向へ反す

- 29 助手席はシートバックテーブルをシートから外してカバーの装着を行います。テーブルを開いて、プラスチックパーツの端の隙間にヘラなどを差し込み、図のようにヘラを動かしてパーツを開きます。
※この作業は慎重に行ってください。



- 30 次に29番で一部開いたプラスチックパーツの上側からヘラを差し込み、プラスチックパーツを固定しているツメを外していきます。
※この作業は慎重に行ってください。



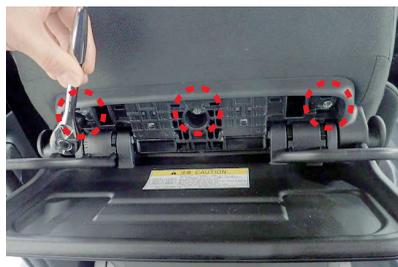
- 31 上側のツメを全て外すとプラスチックパーツが図のように開きます。



- 32 開いたプラスチックパーツ部分を完全に外します。手でプラスチックパーツを付け根側へ軽く押しします。



- 33 軽く押した状態で、付け根部分を手前へと引くとプラスチックパーツが外れます。



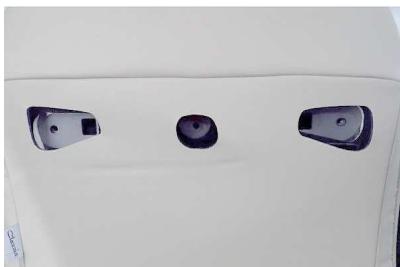
- 34 プラスチックパーツを外すと、シートバックテーブルを固定しているボルトが3本出てきます。ボルトをソケットレンチなどを使用して3本とも外します。ソケットは10mmを使用します。



- 35 ボルトを3本とも外してもまだシートバックテーブルは外れません。テーブルは2本の軸で支えられている状態になっています。テーブル部分を軽く下方方向に力を加えます。



- 36 下側に力を加えた状態で、テーブルを矢印の方向へ引くと、軸が外れてシートバックテーブルがシートから完全に外れます。



- 37 運転席と同様にシートカバーを装着します。カバー背面の加工穴の位置と、シートバックテーブルを固定する、軸とボルトの穴位置が合っていることを確認します。穴位置が合っていない場合は、シートカバーの装着がずれています。カバーの装着を見直して下さい。



- 38 シートバックテーブルをシートに固定します。まずテーブル裏にある軸と穴位置を合わせて、固定します。



- 39 次にボルトを3本とも固定します。ボルトは強く締めすぎるとプラスチックパーツが割れたりする恐れがあるので、注意して下さい。



- 40 33番で外したプラスチックパーツを元に戻します。下側の付け根の位置を合わせて、上側のツメの位置を合わせ、軽く押しつけて固定します。下側のツメの位置は分かり辛いですが、上側のツメを合わせると下側も自然と一緒にツメの位置が揃ってきます。



- 41 シートバックテーブルを元通りに固定できました。助手席の完成です。

Step 3

…→2列目座面の装着方法



- 1 運転席側用のシートベルトバックルを固定しているベルトを外します。



- 4 シート全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 2 側面のファスナーを開けておきます。始めに外側のシートの形状に沿ってカバーをかぶせます。



- 5 シートを跳ね上げた状態にして、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
Point ※この際、9番のように、シートの背面から生地を引き出すように入れ込まないで下さい。入れ込む生地はシートへ巻き込むようにして、シートの前側から生地を引き出せるようにします。



- 3 外側を軸にしてカバーをシート全体にかぶせます。カバーの入口が狭いので、シートのクッションを押しながら作業を行って下さい。



- 6 アームレスト下の生地も5番と同様に生地を入れ込みます。この際、運転席側のシートベルトバックルがカバーで埋もれないように注意して下さい。



7 シートを跳ね上げて5番・6番で入れ込んだ生地を引き出します。



8 生地を引き出す際、一番外側の生地はシートの裏にある軸部分をかわして引き出します。端の方は隙間が大変狭くなっているので、シートを調整しながら作業を行ってください。



9 こちらはシートの背面から生地を引き出した誤った装着方法です。
Point 5番・6番で入れ込んだ生地は、必ず7番のようにシートを跳ね上げて、シートの前側から引き出すようにして下さい。



10 シートを跳ね上げた状態で、カバー側面のファスナーを閉じます。生地を内へ寄せながら慎重にファスナーを閉じて下さい。



側面の生地裏側に入れ込むと生地が破れる恐れがある
シートの裏側に入れ込むとロックが掛からなくなる

11 ファスナーの端は折り返して、カバー内側のファスナーの裏側(図の赤線部分)に来るように入れ込みます。
※この際、入れ込むファスナー部分を、シートの裏側に当たる位置に入れ込むと、シートのロックが掛からなくなります(特に助手席側)。
またシートの側面側でも生地裏側だと、シートを跳ね上げた状態から降ろす際に、プラスチックパーツと生地が干渉して、生地が破れてくる恐れがあります。
ファスナーの端は、正しい位置に入れ込んで下さい。



12P ▶ 12 シートベルトバックルが収納される部分の生地端に、マジックテープが付いています。マジックテープを6番・7番で入れ込んだ生地と同様にシートの裏側へ入れ込みます。



- 13 マジックテープをシートの裏側から引き出して、直接シートに貼り付けて固定します。



- 14 7番で引き出した生地とシート裏の端の生地をマジックテープで固定します。



- 15 シートの付け根部分の生地は、プラスチックパーツに引っ掛かることがあります。プラスチックパーツの内側に生地が収まるように入れ込んで下さい。



- 16 カバーの加工穴から1番で外したシートベルトバックルを固定しているベルトの、短い方のみ取り出します。ベルトを元通りに固定します。



- 17 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



- 18 助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。
※11番の内容には十分に注意して、作業を行って下さい。

Step4

…>2列目背もたれの装着方法



- 1 始めにアームレストを外します。純正シート表皮のファスナーを開けます。シート内側の軸部分からファスナーの端を引き出して、図のようにファスナーを開けます。ファスナーは一番上まで開けるようにして下さい。



- 2 ファスナー開けた部分から背面のシート表皮をめくると、シートの内側にアームレストを固定しているナットが見えます。
※図は分かりやすいように、ファスナーとシート表皮の下側の固定も外しています。



- 3 ソケットレンチなどを使用してナットを外します。ソケットは12mmを使用します。



- 4 ナットを外してアームレストを図のように引き出すと、シートからアームレストが外れます。



- 5 カバー背面のファスナーを開けておきます。中央のシートベルトの内側にカバーを通します。
※1番で開いた純正シート表皮と同じ位置にある、カバー側面のファスナーは閉じたままカバーの装着を行って下さい。



- 6 カバーをシート全体にかぶせて、シートのラインに合わせます。



7 カバー背面のファスナーを、生地を図のように内へ寄せながら慎重に閉じます。



10 プラスチックパーツ周りは図のように生地が収まります。



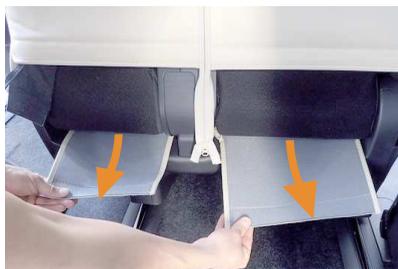
8 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



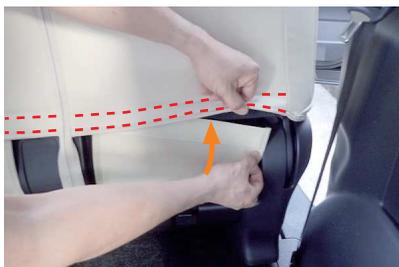
11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。アームレスト下の生地も同様に入れ込みます。



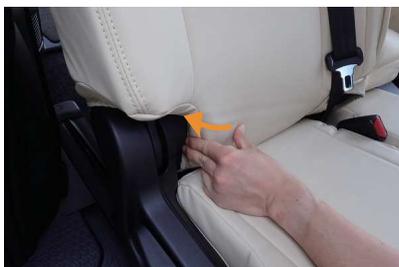
9 中央のシートベルトが出ているプラスチックパーツの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



12 シートの背面から生地を引き出します。



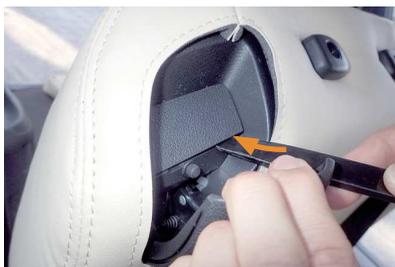
- 13** 引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。
7番で閉じた背面のファスナーの端は、マジックテープを固定した後、カバーの内側へ入れ込みます。



- 14** シートの付け根部分の生地を、シートの軸の内側へ入れ込みます。



- 15** 運転席側と中央席の間の軸部分も、図のように生地を入れ込みます。



- 16** リクライニングレバーを引くとレバーの内側にプラスチックのキャップがあります。キャップの溝にヘラなどを差し込みキャップを外します。



- 17** 図のようにキャップが外れます。キャップを外すと中にネジが2本あります。



- 18** ネジをドライバーを使用して外します。
※こちらのネジは固めに固定されているので、ネジをなめてしまわないように、注意して下さい。



- 19 レバーはネジと下側のツメで固定されています。ネジを2本とも外すと図のようにシートからレバーが外れます。
※レバーはワイヤーでつながっているので完全には外れません。



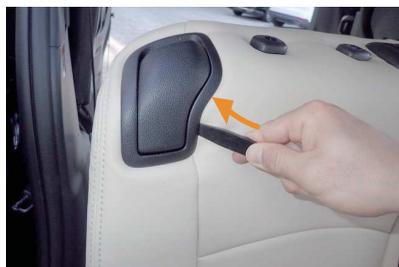
- 20 外したレバーを生地を挟み込みシートに戻します。
レバー下側のツメの位置を合わせ、レバーをシートにしっかりと押さえ付けて、18番で外したネジの穴位置を合わせます。この際、レバーの位置とカバーの加工穴の位置がずれている場合は、カバーの装着を見直して下さい。
※革を使用したカバーや厚みのあるカバーはしっかりと生地を押さえて下さい。



- 21 生地を押さえながらネジを固定します。ネジ穴の位置がしっかり合った状態で作業を行わないとネジをなめたり、ネジ穴側の金属が変形する恐れがあるので、注意して下さい。
※一人で作業が難しい場合は、二人で作業されることをお勧めします。



- 22 レバーをシートに戻すと図のようになります。



- 23 レバーをシートに戻す際、生地を強く押さえ付けるため、生地にシワが寄ることがあります。その際はヘラなどを使用して、生地を伸ばすように馴染ませて下さい。
※隙間が狭いため、完全にシワがなくならない場合があります。



- 24 カバーのラインを整えます。この後、アームストにカバーをかぶせます。



- 25 アームレストの軸部分のプラスチックパーツを外します。
ソケットレンチなどを使用して片方にあるボルトを外します。ソケットは12mmを使用します。



- 28 ネジを外して、ボックス部分を矢印方向へスライドさせるように引くと、裏のフックが外れてアームレストからボックスが外れます。



- 26 プラスチックパーツを矢印の方向へ動かしながら慎重に外します。



- 29 アームレストの付け根部分からカバーをかぶせていきます。



- 27 ボックス部分の図のネジを、2本ともドライバーを使用して外します。



- 30 付け根側を軸として、カバーをアームレスト全体にかぶせていきます。先端の角を指で押しながら、引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 31 カバーをアームレスト全体にかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 34 32番のフックが引っ掛かれば、アームレストとボックスの内側に生地と固定部材を入れ込みます。



- 32 ボックスをアームレストに戻します。ボックス裏の先端側は図のようにフックがあります。



- 35 ネジを締めてボックスを固定します。



- 33 32番のフックをアームレストにある金属に引っ掛けることを意識して、アームレストの先端側からボックスに戻します。この際カバーの生地や固定部材をできる限り挟み込みながら、ボックスを戻して下さい。



- 36 カバーのラインを整えます。アームレストとボックスの境目にシワなどがある場合は、ヘラなどを使用して生地を馴染ませます。



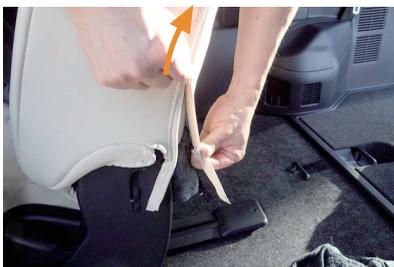
37 25番・26番で外したプラスチックパーツを元通りに固定します。



40 アームレストのボルトを通す穴位置とカバーの加工穴の位置が合っていることを確認します。



38 カバーのラインを整えます。これからアームレストをシートに戻していきます。



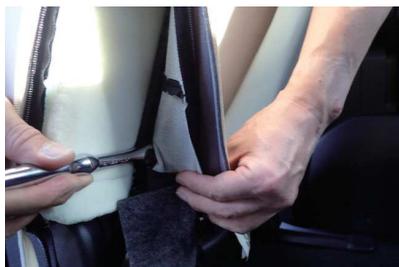
41 カバー内側のファスナーを開けます。
※純正シート表皮のファスナーを閉じてしまっている場合は、再度一番上まで開けて下さい。



39 アームレストをシートに戻す前にアームレスト収納部のラインを再度確認して下さい。



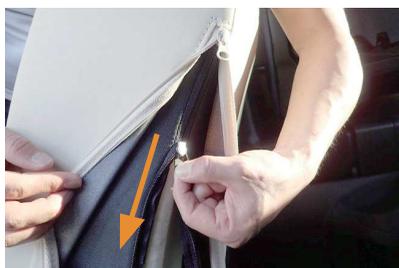
42 アームレストをシートに戻します。ボルト穴とアームレストのボルトの位置を合わせて戻していきます。この際アームレスト収納部の生地が引っ張られたりする場合は、ボルトを固定する前に生地を調整して下さい。



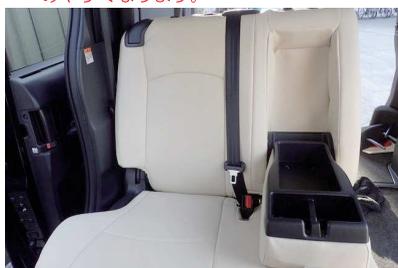
- 43 カバーと純正シート表皮をめくり上げて、**3番**で外したナットを固定します。



- 46 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれとアームレストの完成です。
※アームレストをしっかり収納した状態で1日程度おいていただくとアームレスト収納部の生地に型が付き、よりシートに馴染みやすくなります。



- 44 純正シート表皮のファスナーを閉じます。ファスナーの端はしっかりとシートの軸の内側へ入れ込んで下さい。



- 47 アームレストを出した状態の完成図です。



- 45 カバーのファスナーも生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。

Step 5

…→2列目助手席側背もたれの装着方法



- 1 カバー背面のファスナーを開けておきます。シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 4 背面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



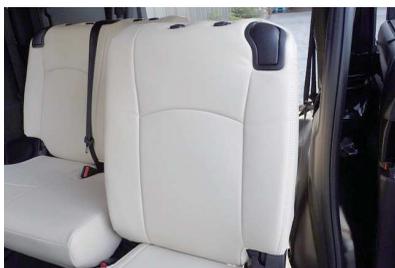
- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 3番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 6 シート肩口のレバーを取り出します。レバーの取り出し方は21ページの16番から23番を参考にして下さい。カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

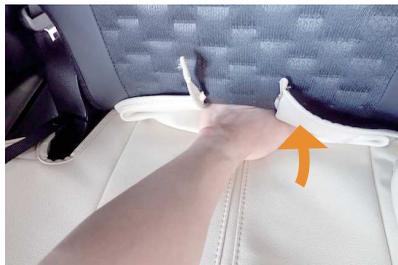
Step 6

…>3列目座面の装着方法

※3列目にシートカバーを装着することで、3列目のシートを跳ね上げて車体側に固定する際、シートを車体側に押すサポートが必要になります。シートカバーはシートの動作に考慮して、最小限の厚みにしています。



- 1 シート内側の軸部分です。シートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 4 シートを下ろして、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 1番で固定した位置を軸として、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 3 シートを跳ね上げてシートの脚を交わすようにカバーをかぶせます。



- 6 引き出した生地を開いているカバーの加工穴を、シートを跳ね上げた際、車体に固定する図の金具部分に通します。



- 7 シート外側の後ろ側です。端にマジックテープの付いた生地を、シートと車体の隙間に入れ込みます。



- 10 シートの裏側は図のようになります。



- 8 シートを跳ね上げて入れ込んだ生地端に付いているマジックテープと、シート裏のカバーに付いているマジックテープを固定します。



- 11 シートを跳ね上げる際に使用するレバー周りは図のようになります。



- 9 5番で引き出した生地と、シートの裏からシートの背面側へ通した生地を内へ寄せ合い、ファスナーで固定します。ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 12 シートの裏側はプラスチックパーツのため固定ができず、生地が図のようにめくり上がります。こちらが気になる場合は両面テープなどを使用して固定して下さい。
※両面テープは商品に付属しておりません。



- 13** シートベルトのバックル部分に生地を入れ込みます。
バックル収納部の中央席側の生地にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 14** バックル収納部の運転席側の生地にはゴムが付いています。ゴムをバックルにそれぞれ通して生地を入れ込みます。



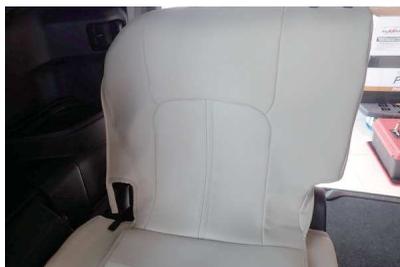
- 15** シートのバックル周りは図のようになります。



- 16** カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step 7

…>3列目 背もたれの装着方法



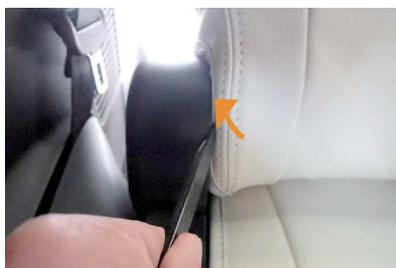
1 カバー外側のファスナーを開けておきます。カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。



4 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



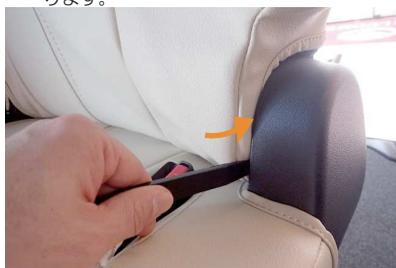
2 ヘッドレストの台座を取り出します。



5 シート外側の軸部分です。ヘラなどを使用してシートと軸の隙間に生地を入れ込みます。
Point
! 3列目背もたれのカバーでは、生地が中央に寄りそうるので、この作業は重要になります。



3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



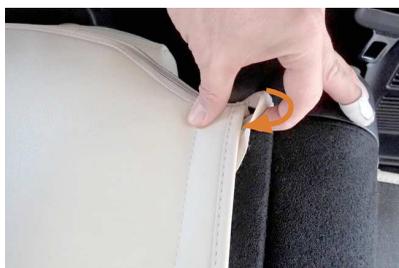
6 シート内側の軸部分です。こちらも外側と同様にヘラなどを使用してシートと軸の隙間に生地を入れ込みます。



- 7 カバー外側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 10 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



- 8 ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 9 4番で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。

Step8

…>ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーを半分ほど裏返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前になります。



- 4 カバー前後のプラスチックパーツを固定します。



- 2 裏返していた生地を左右均等に引き下げてカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5 プラスチックパーツの固定方法は、フック状のプラスチックパーツに板状のプラスチックパーツを生地と一緒に折り返してはめ込み固定します。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を図のように寄せ合い、生地の上に付いているマジックテープを固定します。



- 6 プラスチックパーツを固定するとヘッドレスト裏は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
2列目両サイドのヘッドレストも形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

2列目中央ヘッドレスト



- 8 ヘッドレストとシートカバーの形状を見てカバーの前後を確認して下さい。
ヘッドレストの先端からカバーを図のように下から上へかぶせていきます。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、1列目ヘッドレストと同様に、ヘッドレスト裏でマジックテープとプラスチックパーツを固定します。

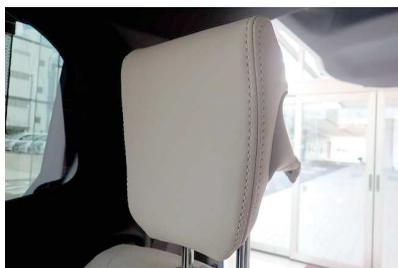


- 10 カバーのラインを整えて、2列目中央ヘッドレストの完成です。

3列目ヘッドレスト



- 11 ヘッドレストとシートカバーの形状を見てカバーの前後を確認して下さい。
ヘッドレストの先端からカバーを図のように下から上へかぶせていきます。



- 12 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。

3列目中央ヘッドレスト

※3列目中央のヘッドレストは、ヘッドレストの形状上デザインステッチ（シートカバーの仕様によってはパイピング）を入れることが難しいため、ステッチを入れられない仕様になっています。



- 13 ヘッドレストをシートから外して、両端の生地を内へ寄せ合います。寄せた生地の端に付いているマジックテープと、図の赤線部分のマジックテープを固定します。



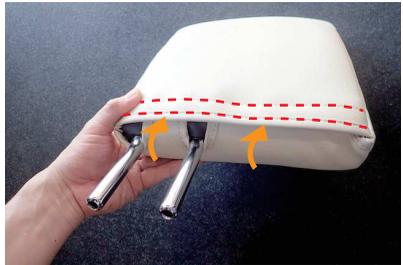
- 14 1列目ヘッドレストと同様にプラスチックパーツを固定します。



- 15 カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。



- 16 カバーはオスのマジックテープが生地裏に付いている方が前になります。カバーの入り口を図のように裏返してヘッドレストの先端までかぶせます。次にヘッドレスト全体にカバーをかぶせてヘッドレストのラインに合わせます。



- 17 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 18 カバーのラインを整えて、3列目中央ヘッドレストの完成です。

Step 9

…→アームレストの装着方法



- 1 カバー内側の加工穴からカバーを図のように裏返します。
アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 4 アームレストのボルト穴が見える位置までカバーをかぶせておき、アームレストをシートに固定します。
※アームレストのキャップを戻し忘れないように注意して下さい。



- 2 2番・3番は推奨作業になります。
アームレストをシートに戻す前に、カバーを一旦アームレスト全体にかぶせます。
アームレストの後ろ側に生地を引っ掛けるようにしてかぶせていきます。



- 5 アームレストの後ろ側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。
アームレストの角度を変えながらアームレストとシートの隙間に生地を入れ込みます。



- 3 カバーをアームレスト全体にかぶせてラインを整えます。
こうしておくことでアームレストをシートに戻してカバーをかぶせる際、作業が行いやすくなります。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

Step 10 …>コンソールの装着方法

※コンソールのフタはプラスチック素材で出来ているため、カバーを装着した後、生地が滑ります。また、カバーをかぶせることで生地の厚みでフタが閉まり辛くなります。

上記の点を踏まえ、予めご理解いただいた上でカバーの装着を行って下さい。

※コンソールトレイが装備されていない車両はこちらの作業は行いません。



- 1 図はガソリン車のコンソールです。コンソールの形状が違う仕様でもフタ部分は同じ形状になるので、同様に取り付けます。フタを開いた状態でカバーをかぶせていきます。図の赤丸で囲んでいるコンソールのツメ部分にカバーの加工穴を合わせます。



- 2 コンソールのフタ全体にカバーをかぶせてカバーのラインを整えます。



- 3 フタと本体の隙間から、助手席側の側面にある生地を入れ込みます。フタの角度を調整しながら作業を行って下さい。



- 4 フタを開けて入れ込んだ生地を引き出します。



- 5 引き出した生地に付いているマジックテープを、図の赤線部分の生地裏に付いているマジックテープと固定します。



- 6 カバーのラインを整えて、コンソールの完成です。

完成図

※一部、7人乗りの画像を使用しています。



1 列目



2 列目



3 列目



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816